



バンコヴァ オルガさん ウクライナ出身 卒業生で4月から本学勤務

index

- ご挨拶/人事
- 総会報告
- 木樽正明氏講演会
- 本学教員による授業紹介
- 後援会TOPICS
- 敬愛フェスティバル2022
- 学生の活躍
- 2022年度 後期 学事日程
- 奨学金案内
- Information/編集後記

Information

2022年度 奨学金案内

長戸路記念奨学金

募集については、KCN(学生ポータルサイト)やメールを通してお知らせいたします。
募集・手続きには期限がありますので、充分に注意してください。

選考基準(全学年対象)

敬愛大学講座を受講し、建学の精神「敬愛人」を具現可能な学生であり、次のいずれかにあたる者

- ①成績が優秀な者(自薦不可)
- ②課外活動等により、学園の発展および社会に貢献をした者
(ボランティアやスポーツ等を通じて明るく豊かで活力に満ちた社会の実現に寄与し、他の模範となる者)

【申込み】毎年10月に募集要項公表 【給 付】1人あたり20万円以内 ※本奨学金の受給は在学中1回を原則とする。

日本学生支援機構奨学金【貸与・給付(高等教育の修学支援新制度)】

ご相談は、大学事務局学生支援室までお問い合わせください。

※奨学金の申込みについては、学生本人に手続きいただきます。

2024年春完成予定の新教育棟 3つのデザインコンセプトを紹介します

1. 学びが連鎖し交流が生まれるキャンパス

敬愛大学のビジョンである「グローバルな社会における多様な人々との協働 ～ボーダーを超える～」を実現します。大学や地域、学部学科や専門性のボーダーを超えた様々な人々との交流・協働・連携を促進し、学びの連鎖を生み出します。

2. 新たな時代の変化に対応できるキャンパス

「新たな時代の変化に対応する教育 ～Society5.0 に対応できる AI 人材を養成～」を実現するため、最新のICT(情報通信)機器を充実させます。「人間の強み」を発揮する想像力(Imagination)と創造力(Creativity)の双方を豊かに備えて AI を活用できる人材を育成します。

3. 持続可能性に配慮した環境・景観と調和するキャンパス

本学園のビジョンである「地域の伴走者 ～地域との関わりを重視し、地域に愛される学園運営をする～」を実現するため、環境に配慮し、町と調和するキャンパスを創造します。社会や地域、人との関係を責任をもって、より良くしていくようとする実践力を育て、SDGs(持続可能な開発目標)の実現に貢献します。



editor's
notes

編集後記

You can take a horse to the water, but can't make him drink.

テレビから「馬を水辺に連れていくことはできても、水を飲むことはできないのよね」とドラマのセリフが流れてきました。イギリスのことわざですね。馬に水を飲ませてあげようと水辺に連れて行くことはできるけれど、水を飲むか飲まないかは馬自身が決めることで、無理矢理水を飲ませることができないということです。つまり、周りの人はいろいろな支援をすることはできるけれど、最終的に実行するかどうかは本人次第ということです。

このことわざは、やれることはしているのに、結果を出そうとしないことに、やりきれない気持ち

ちや諦めを感じます。ですが、とても優しい言葉にも思います。子どものために、学生のために、誰かのために、精一杯準備して、整えて、提供して、水を飲むのを待っています。決して無視して放置してはいないのです。

ドラマの中でも、通行人の会話を心にとめた主人公が、「できることと、できないこと」「無理強いできることと、できないこと」「してあげたいこと、だけど力が及ばないこと」と思考を巡らせていきます。さらに、思考は飛躍して「疲れた心の中までは、ケアできない」「人に無理強いしても、ダメなものはダメ」「でも、自分が納得したな

ら、普通じゃなくても大丈夫!」と着地点を見つけます。(ドラマ「孤独のグルメ」)

喉が渴きさえすれば、馬は水を飲みます。「無理強い」したところで「結果」が出ないことも知っています。でも、思うがあまり、少しでも早く水を飲んで欲しいと願ったりします。

敬愛大学では、これからも教職員一同、ご子女の大学生活が充実していくために全力を尽くしてまいります。今後とも、ご支援よろしくお願い致します。(C)

Greeting



教育後援会 会長
原 真紀

ご挨拶

新入生の皆さま、保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆さまにおかれましては、教育後援会の会員となられましたことを嬉しく思います。

新型コロナウイルスの影響で行動を制限される中、卒業式、入学式ともに対面にて開催できましたことに、先生方をはじめ関係各位の皆さまのご尽力に感謝いたしております。当たり前とされてきた日常ができなくな

った今、できることに喜びを感じ、感謝できることは、コロナ禍になつて、良いことのひとつと考えます。

新入生の皆さまにおかれましては、大学生活にも慣れてきて、学業、課外活動等に、取り組まれていることと思います。その中で、困ったことや悩みなどに直面することもあると



思います。敬愛大学には面倒見のいい先生や、親身になってくれる先輩がたくさんいます。どうか一人で悩まず、信頼できる先生や先輩に話してみてください。

また、大学四年間は長いようであつという間です。将来の夢や目標を決めて日々学んでください。私の尊敬する人の言葉に「ともかく何か始めることだ。三日坊主でもいい。三日坊主でも十回やれば一か月やつたことになる。」があります。自分のために何か始めていただきたいと思います。

教育後援会では、学生たちの課外活動、学内環境、教育活動、留学生支援、就職活動、生活相談、大学行事、卒業関係支援と数多くの支援をしております。



私たち教育後援会役員一同、保護者の皆さまと大学との懸け橋になれるよう努めて参りたいと思います。

今後とも、教育後援会の活動にご理解、ご協力くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



学長
中山 幸夫

ご挨拶

教育後援会の皆様には、日頃より本学の教育活動に多大なご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

コロナ禍での社会生活はすでに三年に及び、その間7回もの感染拡大の波と直面していますが、本学では感染状況の動向を注視しながら、科目履修および進路支援について、可能な限り対面による授業と指導の機会を確保するよう努めています。今年度前期の授業についても、関係者の理解と協力のもと、開講した全ての授業科目を無事に終了することができました。

教育後援会の活動については、5月14日に三年ぶりとなる対面での総

会および父母懇談会が開催されました。当日は保護者の皆様からのご

要望に沿って、前半では本学教員による授業紹介が行われ、各学部を代表して3名の専任教員が登壇（『経済学部』大久保利宏特任教員、『スポーツ産業論』、『国際学部』有馬容子教授、『アメリカ文学史』、『教育学部』向山行雄教育学部長／教授『小学校社会科指導法』、『それぞれの担当する専門科目の模擬授業を展開し、大学での授業の様子を保護者の皆様に体験していただく機会となりました。

後半の部では、木樽正明氏（元プロ野球投手・コーチ・監督、千葉ロッテマリーンズOB会長）の講演（『スポーツを通じた人間形成と地域の活性化』）がライブ配信も交えたハイフレックス方式で行われ、好評を博しました。

学園創立100周年（大学創立60周年）に向けた稲毛キャンパス整備に伴う新校舎（地上9階、地下1階）

建設については、6月より基礎工事が行われています。二〇二四（令和6）

年2月の竣工をめざし、工事が滞りなく安全に進行するよう見守りたく思います。

最後に朗報をお伝えします。本学の副専攻「AI・データサイエンス」が、文部科学省が推進する数理・データサイエンス・AI教育プログラム（通称、MDASHプログラム）の『応用基礎レベル』に認定されました（8月24日発表）。この副専攻は昨年6月に「リテラシーレベル」の認定を受けており、『応用基礎レベル』と併せて2つの認定を受けた千葉県内初の大学となりました。



この4月から着任された2名の先生方をご紹介します。



国際学部 国際学科
土弘 信彦 教授
（入門経営学 国際経営）



国際学部 国際学科
長谷川 頼子 准教授
（日本語教育 日本語学）



教育後援会総会議事

第1号議案 《2021年度 教育後援会 事業報告》

1.教育後援会関連事業		
2021年	●計画した内容	●実施した内容
4月 2日 (金)	令和3年度入学式参列	計画通り実施済
4月16日 (金)	会計監査	計画通り実施済
5月15日 (土)	第1回役員会 総会 父母懇談会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止 新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議
9月12日 (日)	教育相談会 第2回役員会	計画通り実施済
9月30日 (木)	会報 第62号発行	計画通り実施済
2022年		
3月 6日 (日)	教育相談会 就職説明会 第3回役員会	計画通り実施済
3月23日 (水)	令和3年度卒業証書・学位記授与式参列 会報 第63号発行	計画通り実施済

2.主要後援補助事業		
	●計画した内容	●実施した内容
課 外 活 動 支 援	学友会活動 クラブ活動支援	計画通り実施済
学 内 環 境 支 援	学内環境整備	計画通り実施済
教育活動支援	資格取得者に対する褒賞 TOEIC関係対策講座支援 生涯学習センター運営支援 メディアセンター支援	計画通り実施済
留 学 生 支 援	行政書士によるビザに関する相談会	計画通り実施済
就職活動支援	就職支援講座 教員採用試験対策講座	計画通り実施済
生活相談支援	健康相談ほっとライン(ティーベック)	計画通り実施済
学生食堂支援	学食イベントキャンペーン等 敬愛フェスティバル(10月16日・17日 オンライン開催)	計画通り実施済
大学行事支援	就職フェア(2月17日・18日) 海外スクーリング	計画通り実施済 新型コロナウイルス感染症の影響により支援なし
卒業関係支援	卒業アルバム 卒業パーティー中止	計画通り実施済

第2号議案 《2021年度 教育後援会決算報告》

(収入の部)				(単位:円)
項 目	2021年度予算額 (A)	2021年度決算額 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
会 費	27,045,000	26,835,000	210,000	@15,000円×1,789名
雑 収 入	2,000	157,938	△ 155,938	利息 / レシーブ部戻し入れ金
小 計	27,047,000	26,992,938	54,062	
前 年 度 繰 越 金	16,619,748	16,619,748	0	
合 計	43,666,748	43,612,686	54,062	

支出の部)				(単位:円)
項 目	2021年度予算額 (A)	2021年度決算額 (B)	差 異 (A)―(B)	備 考
運 営 費	3,940,000	1,952,323	1,987,677	
会 議 費	1,700,000	75,000	1,625,000	役員会
印 刷 費	1,150,000	981,858	168,142	総会案内 会報 相談会案内等
通 信 費	1,000,000	787,541	212,459	総会案内 会報 相談会案内等
消 耗 品 費	50,000	61,604	△ 11,604	タックシール等
管 理 費	0	0	0	
雑 費	40,000	46,320	△ 6,320	選任役員記念品等
父母懇談会費	0	0	0	
学校行事助成費	4,300,000	2,442,480	1,857,520	
新 入 生 研 修 費	0	0	0	
大 学 祭 費	2,000,000	312,880	1,687,120	大学祭実行委員への記念品
卒 業 関 係 費	2,300,000	2,129,600	170,400	卒業アルバム
教育活動助成費	3,171,000	1,642,045	1,528,955	
教育活動充実費	3,171,000	1,642,045	1,528,955	生涯学習センター支援 図書除塵BOX 電子黒板・管理用PC 卒業時褒賞 TOEIC講座
図 書 費		0		
海外事情研修費	0	0	0	
課外活動助成費	6,300,000	3,293,902	3,006,098	クラブ活動支援
就職活動助成費	3,500,000	2,850,130	649,870	
就職模擬試験費	3,500,000	2,549,250	649,870	キャリア開発刊行物 キャリアカウンセリング助成 教員採用試験対策講座等
就職特別講座費		0		
求人開拓費	3,000,000	300,880	2,699,120	クオカード 就職フェア
環境整備助成費	3,000,000	397,732	2,602,268	サームカメラ・ディスプレイ等購入
学 生 厚 生 費	7,780,000	7,544,658	235,342	行政書士 学食助成 学生相談業務助成
慶 弔 費	100,000	60,000	40,000	弔慰金3名分
積 立 金	3,000,000	3,000,000	0	
予 備 費	8,575,748	0	8,575,748	
小 計	43,666,748	23,183,270	20,483,478	
次 年 度 繰 越 金	0	20,429,416	△ 20,429,416	
合 計	43,666,748	43,612,686	54,062	

上記決算を精査した結果、適正であることを認めます。
2022年4月16日 敬愛大学教育後援会 監事 真坂真由美 (単位:円)

財産目録(2022年3月31日)		
科目	資産額	備 考
【資産の部】新棟建設事業積立金	2,500,000	千葉銀行中央支店(定期預金)
【資産の部】学園100周年記念事業積立金	500,000	千葉銀行中央支店(定期預金)

第4号議案 《2022年度 教育後援会 事業計画》

1.教育後援会関連事業	
2022年	
4月 2日 (土)	令和4年度入学式参列 新入生父母対象大学説明会
4月16日 (土)	会計監査
5月14日 (土)	第1回役員会 総会 父母懇談会(本学教員による授業紹介、木樽氏の講演)
9月11日 (日)	教育相談会 第2回役員会
9月30日 (金)	会報 第64号発行
2023年	
3月 5日 (日)	教育相談会 就職説明会 第3回役員会
3月23日 (水)	令和4年度卒業証書・学位記授与式参列 会報 第65号発行

2.主要後援補助事業	
課 外 活 動 支 援	学友会活動 クラブ活動支援
学 内 環 境 支 援	学内環境整備
教育活動支援	資格取得者に対する褒賞 TOEIC関係対策講座支援 生涯学習センター運営支援 その他
留 学 生 支 援	行政書士によるビザに関する相談会
就職活動支援	就職支援講座 教員採用試験対策講座
生活相談支援	健康相談ほっとライン(ティーベック)
学生食堂支援	学食イベントキャンペーン等 敬愛フェスティバル(10月15日・16日予定)
大学行事支援	就職フェア(2月16日・17日予定) 海外スクーリング
卒業関係支援	卒業アルバム 卒業パーティー等

第5号議案 《2022年度 教育後援会 予算》

(収入の部)				(単位:円)
項 目	2021年度予算額 (A)	2022年度予算額 (B)	増 減 C(B-A)	備 考
前 年 度 繰 越 金	16,619,748	20,429,416	3,809,668	銀行預金(普通) 千葉銀行中央支店 17,390,005
会 費	27,045,000	26,355,000	△ 690,000	@ 15,000円×1,757名
雑 収 入	2,000	170	△ 1,830	利息
合 計	43,666,748	46,784,586	3,117,838	

(支出の部)		(単位:円)		
項 目	2021年度予算額 (A)	2022年度予算額 (B)	増 減 C(B-A)	備 考
運 営 費	3,940,000	3,170,000	△ 770,000	
会 議 費	1,700,000	900,000	△ 800,000	総会(父母懇談会) 役員会
印 刷 費	1,150,000	1,150,000	0	総会 会報 相談会ほか
通 信 費	1,000,000	1,000,000	0	総会 会報 相談会ほか
消 耗 品 費	50,000	60,000	10,000	事務用消耗品(消耗備品)
管 理 費	0	0	0	
雑 費	40,000	60,000	20,000	選任役員記念品
父母懇談会費	0	0	0	
学校行事助成費	4,300,000	4,700,000	400,000	
新入生研修費	0	0	0	
大学祭費	2,000,000	2,000,000	0	敬愛フェスティバル
卒業関係費	2,300,000	2,700,000	400,000	卒業記念アルバム、卒業パーティー等
教育活動助成費	3,171,000	3,900,000	729,000	
教育活動充実費	3,171,000	3,900,000	729,000	資格取得者に対する褒賞 生涯学習センター支援 TOEIC関係対策講座 メディアセンター支援
図書費				
海外事情研修費				海外スクーリング
課外活動助成費	6,300,000	6,300,000	0	クラブ等支援
就職活動助成費	3,500,000	3,500,000	0	
就職模擬試験費	3,500,000	3,500,000	0	教員採用試験対策講座 就職支援講座
就職特別講座費				
求人開拓費	3,000,000	5,000,000	2,000,000	
環境整備助成費	3,000,000	5,000,000	2,000,000	3号館新設設備購入費 新型コロナウイルス関連
学生厚生費	7,780,000	9,080,000	1,300,000	健康相談ほっとライン・ビザ相談 学生食堂等
慶弔費	100,000	100,000	0	
積立金	3,000,000	3,000,000	0	新棟建設事業 学園100周年記念事業
予備費	8,575,748	8,034,586	△ 541,162	
合 計	43,666,748	46,784,586	3,117,838	

2022年度教育後援会総会が、5月14日(土)に本学3号館にて開催されました。週末にも関わらず多数の会員の皆様にご出席いただきありがとうございます。午後1時より総会を実施し、高橋陽介会長の議事進行で2021年度の事業報告・決算報告が審議・承認されました。その後、ベニ子女の卒業等に伴う役員改選が行われ、新たに1・2年生の父母から3名を迎え入れ同時に、新会長として原真紀氏、新副会長として西澤孝江氏、真坂真由美氏、新監事として石井真由美氏が賛成多数の拍手



第3号議案 《2022年度 教育後援会 役員改選について》

年 度		2022年度	
区 分	役職名	氏 名	備 考
学 外 役 員	会 長	原 真 紀	4年生父母(経済)
		西 澤 孝 江	4年生父母(経済)
	副会長	真 坂 真 由 美	4年生父母(国際)
		塚 越 剛	3年生父母(経済)
	理 事	大 岡 美 由 紀	3年生父母(経済)
		岩 渕 陽 子	2年生父母(教育)
		櫻 井 敦 史	2年生父母(国際)
		増 田 聡	2年生父母(経済)
		木 村 真 一	1年生父母(経済)
		石 井 真 由 美	3年生父母(国際)
	監 事		

※上記内容は大学ホームページでもご覧になることができます。(http://www.u-keiai.ac.jp)

2022年度
教育後援会
総会について

2021年度をもち退任された高橋陽介前会長、勝又計徳前副会長、野中孝子前副会長には、中山学長より感謝状と記念品が贈呈され、総会は終了しました。

2021年度をもち退任された高橋陽介前会長、勝又計徳前副会長、野中孝子前副会長には、中山学長より感謝状と記念品が贈呈され、総会は終了しました。

議事は原真紀新会長が引き継ぎ、予定されていた議案はすべて滞りなく審議が進み、満場一致で承認されました。承認された事業計画、予算、決算、および役員人事等の概略は、次ページ以降に掲載しておりますので、ご覧ください。



年 度		2022年度	
区 分	役職名	氏 名	備 考
学 内 役 員	理 事	佐 々 木 英 憲	学生部長
		渡 辺 賢 二	事務局長
	幹 事	菅 谷 充 規	学生支援室長
		熊 井 夢 立	学生支援室主幹
顧 問		鈴 木 直 人	学生支援室員
		中 山 幸 夫	学長
		成 松 恭 平	副学長/経済学部長
		家 近 亮 子	国際学部長
顧 問		向 山 行 雄	教育学部長

敬称略

木樽正明氏 講演会

「スポーツを通じた人間形成と地域の活性化」

《野球との出会い》

私は5、6歳の頃に、近所の年上の子供についていき、邪魔にされながら野球を始めました。小学校、中学校では野球部に入学し、更に野球にのめり込んでいきました。

高校時代は、1年と3年で甲子園大会に出場しました。1年からレギュラーになり活躍するも、千葉県予選で右肩にデットボールを受け粉砕骨折をした状態で甲子園大会に出場しましたが、その代償は大きく復帰するまでに半年を要してしまつたという苦い思い出もあります。そして、3年で出場した夏の甲子園大会で準優勝を成し遂げました。

今、アマチュア時代を振り返ってみると、子供の年齢に応じた指導や親の声掛けなどがいかに大切であるかが分

かります。

《母の思い》

高校卒業後、東京オリオンズ（現・千葉ロッテマリーンズ）から2位で指名を受け入団しました。ドラフト制度が始まった年の1期生です。当時、母はプロの世界に行くことを反対しました。母は、高校3年間、私の野球の試合を見たことはありません。試合を見ずに、その間仏壇の前で祈って



《最後に》

木樽氏は、地元銚子に戻り、いつか必ず「ふるさと銚子に恩返しする」という強い思いを持ち、銚子市行政アドバイザーをはじめ、母校野球部のヘッドコーチや少年野球の指導、還暦野球の監督など、ふるさと銚子の発展を願い精力的に活動されています。



父子断絶のような日々を過ごしていましたが、ある時、息子が「試合を見に来て欲しい」とやはり妻を通じて言うてきました。「レギュラーでもないのに何を言っているのか」と思いつつ球場に行くと、息子は大太鼓を割ればかりに叩いていました。息子の指にはまめができていたようです。その姿を見たときは、一瞬涙がこぼれそうになりました。息子が私たちに見せたかったのは、この姿だったのかと胸がいっぱいになりました。息子は、元プロ野球選手の父を持ち苦勞もあつたようですが、「野球を辞めなくてよかった」と言っていました。

プロフィール 木樽正明 (きたる まさあき)

元プロ野球選手(投手)・コーチ・監督
昭和22年6月13日、千葉県銚子市生まれ。
千葉県立銚子商業高校時代に甲子園に2回出場し、3年で準優勝を成し遂げる。高校卒業後、ドラフト2位で東京オリオンズ（現・千葉ロッテマリーンズ）に入団し、最多勝、最優秀防御率、最優秀選手賞、ベストナインを受賞。引退後はロッテのコーチや2軍監督、スカウト部長を経て、巨人の編成調査室に籍を移し、2度の日本一、4度のリーグ優勝に貢献。平成26年、ふるさと銚子に帰り、母校銚子商業高校野球部のヘッドコーチを務める。同年9月から令和2年3月まで銚子市行政アドバイザーとして活躍。

本学教員による授業紹介

各学部を代表して今回は下記の先生方に授業を紹介していただきました。本来であれば90分で行う講義ですので、先生方には少しコンパクトな形で行っていただきましたが、雰囲気を感じていただけたと思います。



経済学部 大久保 利宏 特任教授

『スポーツの力(スポーツ産業論)』

スポーツは楽しむことももちろん、「健康体力づくり」「仲間づくり」「生きがいづくり」として極めて有効なことは知られてきました。2016年、政府がまとめた「日本再興戦略2016—第4次産業革命に向けて」においてIoTや人工知能、環境・エネルギー分野とともに、“スポーツの成長産業化”が位置づけられました。「する」「見る」「支える」スポーツの今後の可能性について学びます。



国際学部 有馬 容子 教授

『アメリカ文学史』

アメリカの国民的作家マーク・トウェインの最高傑作といわれている『ハックルベリー・フィンの冒険』を取り上げます。ヘミングウェイがアメリカの近代文学は全てこの一冊からはじまったと高く評価した作品ですが、出版当時は公共の図書館から締め出されるなど、いわゆる問題作でした。ホームレスで学校にも通わない少年の語るこの物語がどうしてアメリカを代表する傑作なのでしょうか。時代を超えて描かれる普遍的な問題にも焦点を当て解説します。



教育学部 向山 行雄 教育学部長(教授)

『小学校社会科指導法』

小学校社会科は、子供に人気のない教科です。多くの学生にとって、自分が受けてきた体験から、社会科は講義形式の授業、暗記科目という印象があります。一方、教師にとっても、教えるにたい授業です。小学校社会科では、世の中の「ハテナ?」に注目し、それを追究する過程を大切にします。今回の授業では、教科書の教材を一つ取り上げ、「ハテナ?」をとともに考えます。

いたそうです。私は7人兄弟の7番目で、自由奔放に過ごしてきましたから、母には人一倍心配をかけました。母は愛情深く見守ってくれていたのです。母にとって、プロの世界は手の届かない、まるつきり違う世界です。プロ入り反対は、私のことを気遣ったことでした。

《プロでの経験》

現役生活10年間で、日本シリーズで優勝し「日本一」になるなど多くの経験をさせて頂きました。また、現役引退後は、ロッテでコーチ・2軍監督を経験していますが、選手自身に考えさせ、自分でつかむように指導していました。当初、2軍の指導者は、選手を鍛えて1軍で活躍させることが仕事だと思っていました。実際は2軍選手の2割しか1軍には行くことができません。よって、2軍選手の第2の人生を考えてやる必要があります。そこで、野球以外の私生活や礼儀などの人間教育にも重点を置く指導をするようになりました。選手にはすぐに理解してもらえないこともあります。何年か後にわかる時が



くるといふ思いで指導していました。

《息子のこと》

私には一人息子がいます。高校進学の時期に将来について話したところ、野球を続け、プロ野球を目指すといい、野球の強豪校に入学しました。ベニンチにも入れない日々が続く、ある日、妻を通じて野球部を辞めたいと言っていました。しかし、私は直ぐに辞めるということが受入れられず、

教育後援会 TOPICS

教育後援会では、学生の教育活動を後援することを
目的に、以下の事業を実施致します。

健康相談ホットライン

健康・医療・こころの不安でお悩みなら

0120-304-023

コロナのニュース
を見ると不安でた
まりません。

発熱が4日続いてい
る。いま医療機関は
受診できるだろうか。

在宅療で
夜眠れない。

学生ともの保護者の方が
ご利用頂けます。

24時間電話健康相談サービス

経験豊かな医師・保健師・看護師などの相談スタッフが、
健康・医療・介護・育児などに関するご相談にアドバイ
スいたします。

メンタルヘルスカウンセリングサービス

公認心理師や臨床心理士などの心の専門家が電話・Web・
面談によるカウンセリングをいたします。

電話・Webカウンセリング受付時間

電話 9:00~22:00 (年中無休)

Web 24時間・年中無休 (返信は数日を要します)

※緊急事態宣言発令によりお電話がつながりにくい状況がありますので予めご了承ください。

医療機関情報等の提供

健康相談と合わせて、全国約40万件を超える医療機関
データベースから、夜間診療を行っている等、ご希望
に応じた医療機関情報等のご案内いたします。



<https://t-pec.jp/websoudan/>

ユーザー名:keiaiusr
パスワード:304023

面談カウンセリング予約受付時間

電話 9:00~21:00 (土曜日は16時まで)
(日曜・祝日、12/31~1/3を除く)

Web 24時間・年中無休
(受付後、日程調整のお電話をさせていただきます)

※緊急事態宣言発令中の都道府県においては面談カウンセリングを中止しております。



プライバシーは厳守されますので、安心してご利用ください。(委託先 ティーベック株式会社)

ご利用の際の諸条件などがありますので、ご不明点はお問い合わせください。



個人情報の取扱いについて

●本サービスは、ティーベック(株)が業務委託を受けて運営しております。●ティーベック(株)は、面談を伴うサービスを適切に実施するため、ご利用者よりいただく個人情報の取り扱いを面談担当者(本事業提携会社および本事業提携医療機関を含む。以下同じ。)に委託する場合がありますが、十分な個人情報の保護水準を満たす者を選定し、契約を締結するなど必要かつ適切に監督いたします。(個人情報をお知らせいただけない場合は、当該サービスをご提供できない場合があります。)●ティーベック(株)は、個人情報を上記の目的以外に使用しないことはもとより、ご利用者の同意を得ている場合、法令にもとづく場合、ご利用者本人または第三者の生命、身体または財産の保護のために必要であると当社が判断した場合を除き、取得した個人情報を委託先以外の第三者に提供いたしません。●ティーベック(株)は、応対品質の向上及び通話内容の検証を目的として、書面、録音または電子的方法等により記録させていただきます。●ご提供いただきました個人情報の開示等を求めることが可能です。お手続きは「〒110-0005 東京都台東区上野 5-6-10 ティーベック(株)個人情報相談窓口責任者(個人情報保護責任者代理)」までお問い合わせ下さい。●当該サービスをご利用いただいた場合は上記の内容をご理解の上、個人情報の取得および提供についてご同意いただいたものとさせていただきますので、あらかじめご了承をお願いいたします。

資格取得者に対する褒賞制度

在学中に以下の資格・検定に合格した場合、申請することで、資格・検定毎に額面3,000円の金券を受験料の一部として贈呈します。(申請できるのは、一人あたり年間2つの資格・検定までとしています)

MOS(Word Excel PowerPoint Access)のうちメディアセンターで受験したもの

宅地建物取引士 行政書士 秘書検定(2級以上) 日商簿記検定(2級以上)

FP技能検定(3級以上) ビジネス実務法務検定(3級以上) 日本語能力試験N1 他

学食200円弁当

好評の学食「あながわ亭」の弁当は、料金補助をおこない一律200円で販売しております。ローストビーフや Pasta、から揚げ弁当やカツ丼などボリュームあるメニューもあり学生さんに好評です。



救命講習会

活動時に心停止など緊急を要する状況となった際に適切に救急措置ができるよう、スポーツ系クラブの部員には救命講習会の受講を義務付けています。

7月29日(金)、日本赤十字社千葉県支部救急法指導員である林泰子先生(学生相談室相談員)による、「救命講習会」を開催し、野球部や硬式テニス部員など8団体61名の学生が参加しました。

大切な人の命、つなぐために

「人が倒れている時」どのように行動するのか。突然の出来事に対して、冷静に正しい知識と技術を持って、命を守ることができるか。大切な人の命を守るための講習でした。そして、救助も大切ですが、まず自分自身の安全確保も必要な事も理解してもらいました。

心肺蘇生法の実技は、蘇生法練習用レサシアンを用い、スポーツ部員代表7名に模範演技をしてもらいました。「人が倒れている」想定の下、安全の確認をして、胸骨圧迫と人工呼吸、AEDを用いての救急車到着までの蘇生法実技です。代表者の実践した観察や確認方法、言葉かけ、実技も確実なものでした。

実際、一般的には知識はあっても、行動に移すことが難しいようです。日常の中で、正しい判断と知識、技術を身につけて、活動することを目的にしました。

本来ならば、多くの人に体験して頂きたいところでしたが、コロナ感染予防の為、参加者や実技体験者人数制限し、人工呼吸は実践しませんでした。(林泰子)



バレーボール部(女子)

2022年度春季関東大学バレーボールリーグ戦が、4月9日~5月15日に2年ぶりに開催されました。本学は女子2部リーグ、8チーム総当たりで「6勝1敗」の素晴らしい成績をあげ、関東2部リーグで準優勝を果たし、関東1部リーグへの入替戦に進みましたが、惜しくも敗退し2部残留が決定しました。



個人賞

井手 はるか 選手(国際3年)
敢闘選手賞

チュク ビヨンセ サトミ 選手(国際3年)
スパイク賞、ブロック賞



秋季のリーグ戦は
9月10日から始まります。
応援よろしく願います。

敬愛フェスティバルに向けて
各部署に分かれて活動をしています!



幾多の想いを現実に

どもありました。そんな大学生活の中でも「新しいことに携わりたい」と思い参加したのが敬愛フェスティバルでした。スタッフとして大学祭の楽しさを知ることと同時に大変さを経験しています。フェス当日の構成から関係者様とのやり取り、広報活動や音響設備・当日の企画進行まで、まさに「学生が主体の大学祭」です。
学生の想いが詰まった敬愛フェスティバル、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

敬愛フェスティバル²⁰²²

10/15 ± 16日



敬愛フェスティバル 実行委員会 委員長
経済学部 経営学科3年

荒牧 萌里

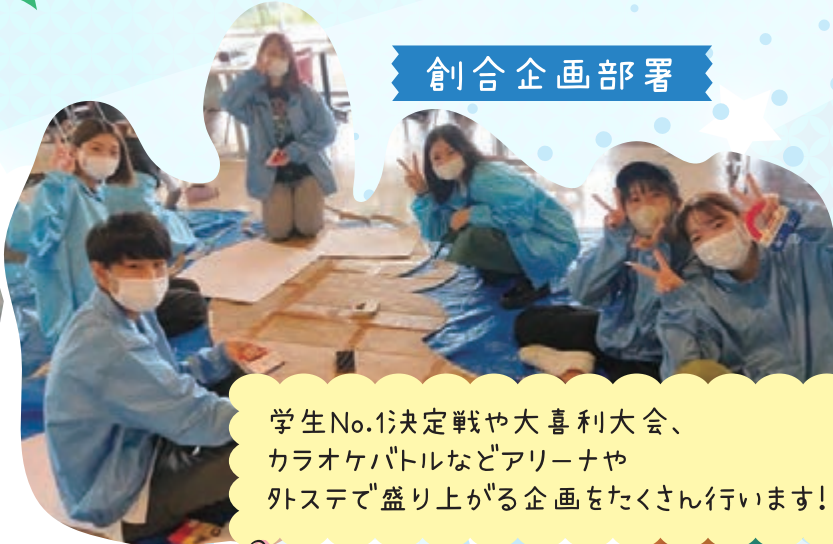
今年度の敬愛フェスティバルは対面とオンライン配信の同時開催を予定しています。

テーマは「再会」幾多の想いを現実にするです。このテーマには3年ぶりの対面開催実施への希望・コロナ渦の今、私たちにできる最大の限のフェスティバルを作り上げたいという学生の願いが込められています。

私が敬愛大学へ入学した当時、期待を抱いていた大学生活も想像とは程遠いものでした。

オンライン授業という慣れないことへの挑戦、オンライン授業に慣れたころには大学へ行くことへの不安な

創企画部署



学生No.1決定戦や大喜利大会、カラオケバトルなどアリーナや外ステで盛り上がる企画をたくさん行います!

敬愛企画部署

子供向けの企画を1から考える部署です!



本部

黄色は
本部の目印です!

特別企画部署

とっても仲良い部署です!
素敵な企画満載です



備品部署

みんなで
盛り上げて
いきます



広報部署

みんな仲よし!
たくさん楽しもう!



出店管理部署

かわいい装飾で来場者さんをお迎えします!!



音響部署

私達がステージを
盛り上げます!





第52回高校生夏季国際理解セミナー

「第52回高校生夏季国際理解セミナー」が、8月23日(火)開催されました。例年2泊3日のプログラムでしたが、ここ数年コロナ禍で途絶えておりましたが、今年度は1日の縮小版での開催になりました。36名の高校生やALT*3名も参加です。会場では、英語と少しの日本語で、コミュニケーションを図ります。日本人同士の日本語での会話は禁じられました。本学からは国際学部2年ゲン フォアントゥさん、国際学部3年ゲン ティ キム トゥさんの2名が参加しました。

※ALT:外国語が母語である外国語指導助手

ゲン ティ キム トゥ



大学の生活にも慣れ、新型コロナウイルスも落ち着いたので、夏休みをもっと大切に過ごしたいと、国際理解セミナーに参加しました。発表を準備して、初めて英語でベトナムの文化について説明したので、緊張したりワクワクしたり、とても楽しい一日でした。テーマは、

高校生でも分かりやすいよう「ベトナムの

台所の神様を天上に送る」と言う行事にしました。高校生はみんな、一生懸命に質問したり、相談したりしてくれて、心から感動しました。また他の留学生やATLの講座を聞き、中国、アメリカ、オーストラリアのことも勉強になりました。とても有意義な一日でした。今度は友達を誘って、参加したいと思いました。



ゲン フォアントゥ



国際理解セミナーに参加し、日本人だけではなく、様々な国籍の高校生と交流でき、ALTの講義では色々なことを学びました。私は、ベトナムについて基本的な情報(ベトナムの地理、ベトナムのアルファベット、代表的な料理)や、ベトナムの伝統的な衣装についてを高校生に紹介しました。高校生のプレゼンの準備のためにさらに詳しく説明し、高校生の練習を見たりすることで、学んだことも

ありました。「伝える」のことだけではなく、「受け止める」のことの両方が、国際理解(異文化コミュニケーション)ということなのです。

私は、将来、日本語教員になることを目指しているので、国際理解することは大事だと思い、セミナーに参加しましたが、とても貴重な機会になりました。ベトナムにはまだまだ面白いことがたくさんあり紹介したいので、機会があれば、また参加したいと思っています。



トライアスロンで世界に挑戦する国際学部3年佐藤姫夏さん 着実に世界に向かって活躍の場を広げています。

先号でもご紹介しておりますが、佐藤さん本人から報告が届いています。

今年度より『日本からアジアへ、アジアから世界へ』徐々に、目標のオリンピックに向けて挑戦する舞台へと広がってきています。

今シーズン初戦の5月に開催された【アジアカップ(フィリピン)】では、第11位で



フィニッシュしました。初めての海外、初めての海外レースと緊張と不安でいっぱいでしたが、やり遂げたことで自信が芽生え大きな経験になりました。

国内レースでも着々と結果を残すことができており、7月上旬に宮城県・七ヶ浜で開催された【日本U23スプリント選手権】では、第3位でフィニッシュしました。表彰台のうえで見た景色は最高で、オリンピックの舞台で表彰台に登り、格別な景色が見たい!と改めて思いました。

7月下旬に日本代表として出場した【アジアU23選手権(カザフスタン)】は、第11位でフィニッシュしました。自分らしさが全面に出たレースだった反面、優勝を狙っていただけに悔しい結果でした。また、帰国後には新型コロナウイルスに感染してしま

い、心身共に休息をすることになりました。

コロナからの復帰後の8月上旬には【世界アクアスロン選手権(スロバキア)】に出場しました。アクアスロンとは、水泳、ランニングの組み合わせで、トライアスロンとはまた違った種目です。パフォーマンスが回復していない中でしたが、【棄権】の文字は見当たらず、ひたすらにフィニッシュを見続け第8位となり、この結果を受け来年のワールドビーチゲームズ日本代表に内定しました。

そして9月、今シーズン前半戦最大のレース【FISU世界大学選手権(ブラジル)】に出場し、個人:19位、ミックスリレー:16位でフィニッシュしました。敬愛大学を代表して、日本の大学を代表して、世界の舞台への挑戦でした。もっと強い選手になるように更に努力を続けていこうと刺激を受けた大会となりました。

この半年間での多くの経験は、私自身の成長の糧となり、前に進むことができています。上手くいく時ばかりではなく、躓きそうになる事も多々あります。そんな時には、家族や所属先、敬愛大学の私を応援してくれている多くの方々に支えられていると感じます。今後も感謝の気持ちを忘れずに、自分らしく、目標のオリンピックに向けて1歩1歩確実に歩んでいきます。

引き続き温かいご声援をお願い致します!



2022年度 後期 主要学事日程

2022年 10月

- 10月 6日(木) 避難訓練
- 10月14日(金) 敬愛フェスティバル準備(臨時休講)
- 10月15日(土) 敬愛フェスティバル
- 10月16日(日) 敬愛フェスティバル
- 10月17日(月) 敬愛フェスティバル片付け(オンライン授業)
- 10月31日(金) 学費納入期限(後期)

2022年 12月

- 12月23日(金) 冬季休業前 授業最終日
- 12月24日(土) 冬季休業(～1月10日(祝))
- 12月29日(木) 事務局休業(～1月03日(月))



2023年 1月

- 1月 4日(水) 事務局再開
- 1月11日(火) 授業再開
- 1月13日(金) 大学共通テスト会場準備(オンライン授業)
- 1月17日(月) 敬愛学園高校入試(臨時休講)
- 1月30日(月) 後期授業終了
- 1月31日(火) 春季休業(～3月31日(木))

2023年 2月

- 2月14日(火) 成績発表(WEBにて)

2023年 3月

- 3月 5日(日) 教育相談会
- 3月 8日(水) 卒業者発表
- 3月23日(木) 卒業式
- 3月29日(水) ガイダンス
- 3月30日(木) ガイダンス
- 3月31日(金) ガイダンス

※日程の詳細や変更・追加はその都度KCNで周知いたします。

教育相談会

9月11日(日)9時30分より本学3号館7階にて、教育相談会が開催されました。3年ぶりの対面開催となり、各学部の教員が、事前に申込みを頂いた保護者の皆様と、ご子女の修学状況や学生生活などについて面談しました。また、奨学金に関する相談に対応するブースの設置もありました。次回の教育相談会は、3月5日(日)を予定しており、就職説明会および個別相談を検討しております。あらためてご案内いたします。



2022年度前期

学生の活躍

「震災学習スタディツアー2022」を開催

敬愛大学では、東日本大震災の発生した2011年から、復興支援ボランティア活動を行っています。通算11回目となる今年度の「震災学習スタディツアー」は、『支縁～他人ごとを「自分ごと」に』をテーマに、9月11日～13日の2泊3日での開催でした。「語り継ぐ」ことに注目し、学生22名が福島県双葉町、宮城県名取市・石巻市での現地踏査を行いました。

帰路のバス車内では、恒例の学生の感想発表を行いました。感想だけでなく、一人ひとりの深い思いやこれからの自分に向けた決意表明が沢山含まれ、本学のこの取組が今年も実現できたことの意義深さを、再確認したようです。

1日目 福島県双葉町、宮城県名取市関上

「東日本大震災・原子力災害伝承館」(福島県双葉町)に立ち寄り、福島県内での震災の状況を学びました。伝承施設や双葉駅周辺が、ごく最近避難指示解除となった場所です。午後は関上地区で長沼後幸さんから震災前後の生活についてじっくりお話を伺いました。



2日目 石巻市南浜・門脇地区での現地踏査

午前中は、この地での津波火災により小さな命が失われた「日和幼稚園」の園児たちにおきた出来事を、2時間かけて歩きながら学びました。午後は、AR技術を用いて震災前と震災後と比較しながらの街歩き。多くの人々の生活があった街の大半は、いまは祈念公園になっています。



3日目 関上での自由踏査

関上小中学校隣地にある「関上中学校慰霊碑」で祈りを捧げた後、「きれいになった」関上の街での自由踏査を実施しました。町内会集会所での住民さんとの交流をしたグループ、伝承施設を歩いたグループ、また1日目の訪問地を改めて歩いたグループもあり、各々が学びました。

